

第1回 航空・宇宙WG資料



2026. 01. 22

(一社) 日本航空宇宙工業会

The **Society of Japanese Aerospace Companies**

1. 日本航空宇宙工業会 概要

1952年設立

137社の会員企業 (2026年1月1日現在)

87社 正会員

50社 賛助会員

会長 中村 知美 (株)SUBARU 取締役会長)

主な活動

政府の諸施策に対応する諸活動

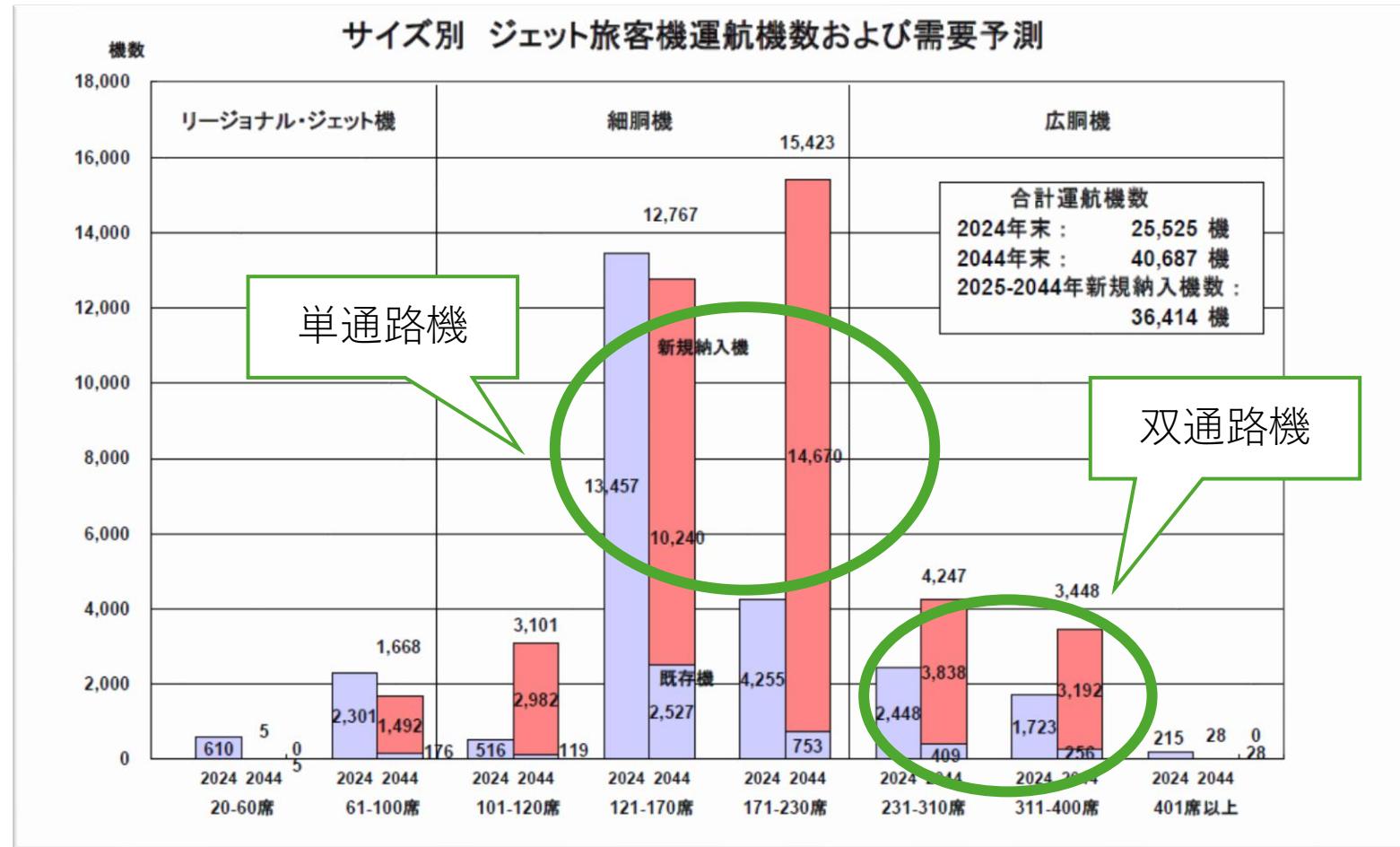
航空宇宙産業の産業基盤の整備

海外の航空宇宙産業界との協調

国際航空宇宙展・各種会合の主催



2. 民間航空機の市場予測

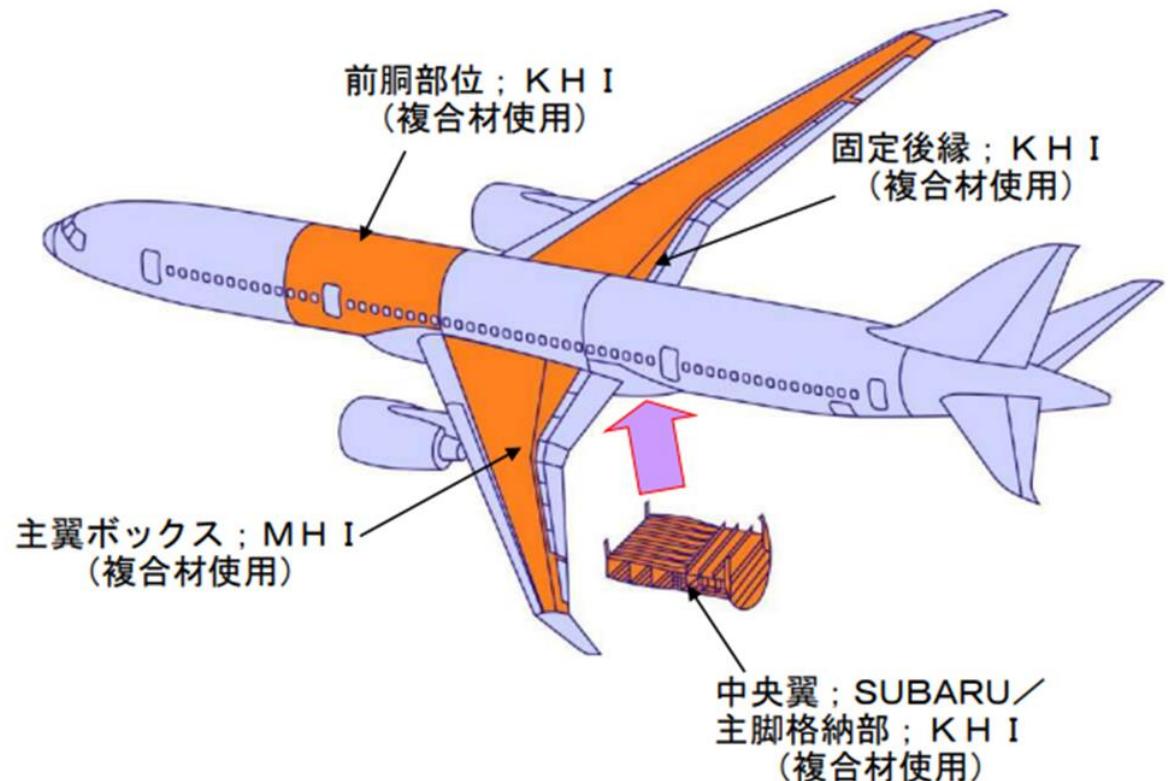


出典：一般財団法人航空機開発協会「民間航空機に関する市場予測 2025-2044」

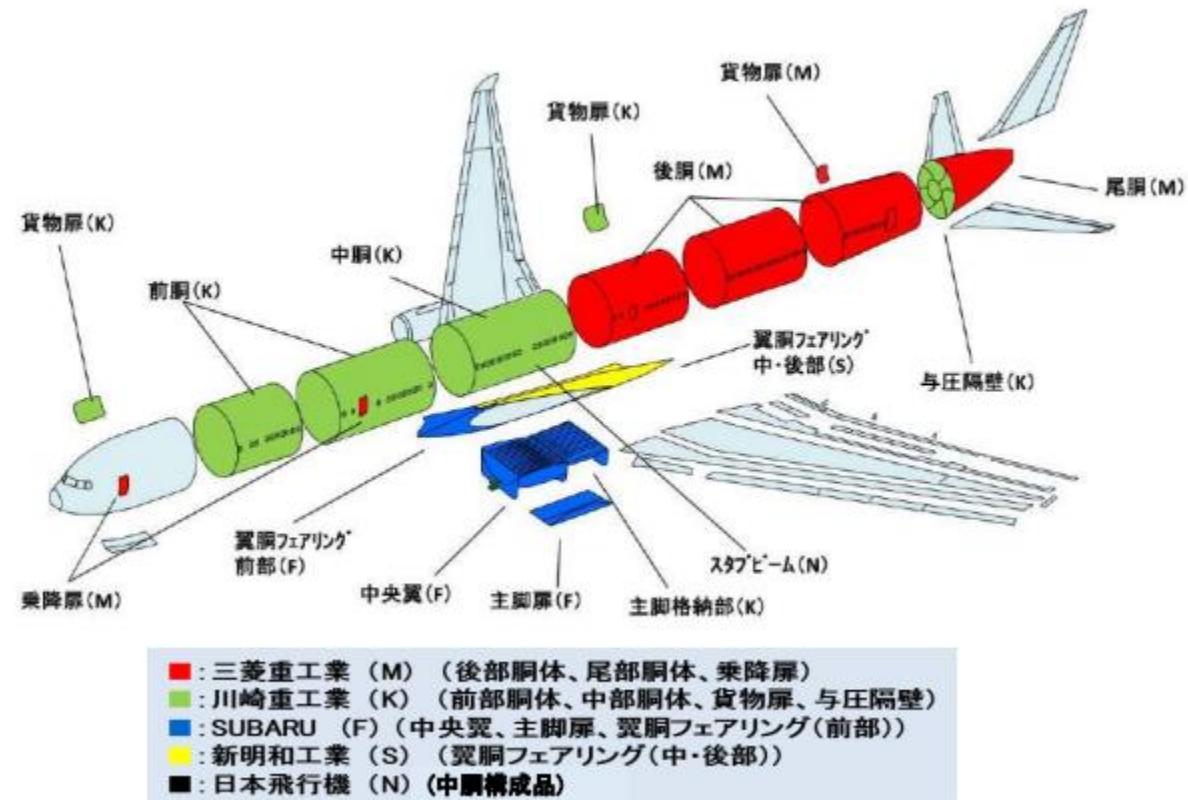
民間航空機は単通路機セグメントを中心に今後の成長が見込まれている。

3. 我が国の民間航空機・エンジン事業

4) 787 日本の機体メーカー分担図



5) 777X 日本の機体メーカー分担図



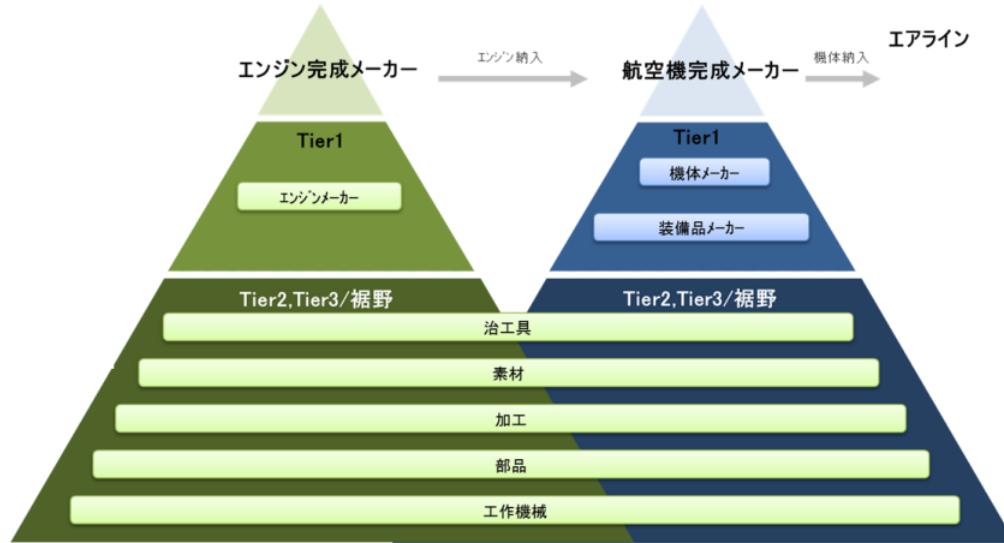
2点とも 出典：一般財団法人航空機開発協会「民間航空機関連データ集」

我が国の民間機体事業は双通路機プログラムに参加し事業を拡大。

我が国の民間エンジン事業は双通路機と单通路機のプログラムに参加し事業を拡大。

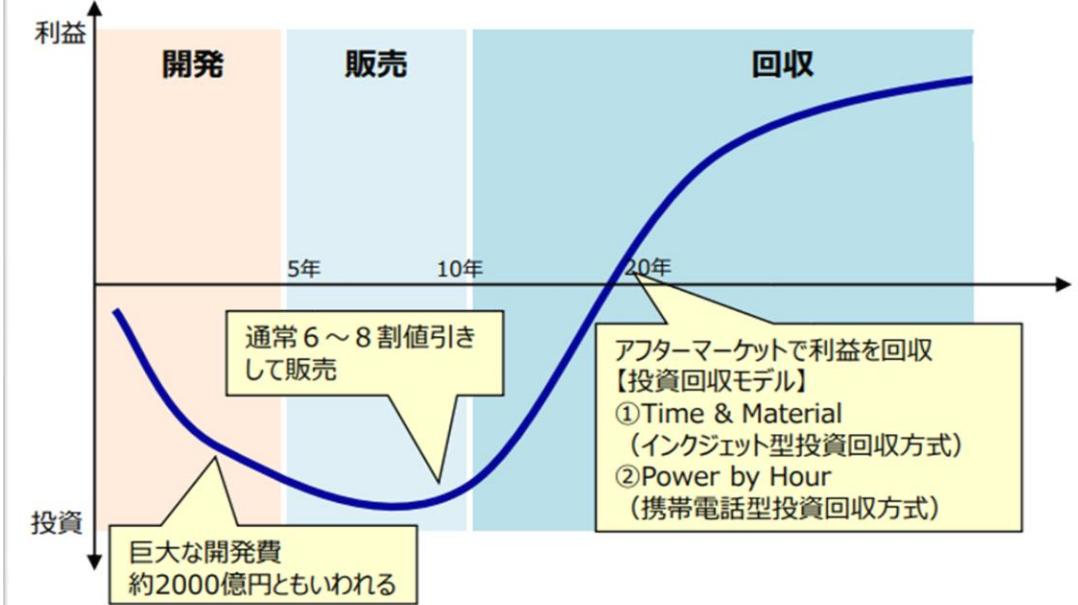
4. 民間航空のビジネスモデル—長期のリスクバッファーの必要性

サプライチェーン構造



出典：日本政策投資銀行 本邦航空機産業の過去・現在・未来(2016年7月)

典型的なエンジンビジネスモデル



出典：経済産業省 第1回航空機産業小委員会資料（2024年3月27日）
「我が国航空産業の今後の方向性について」

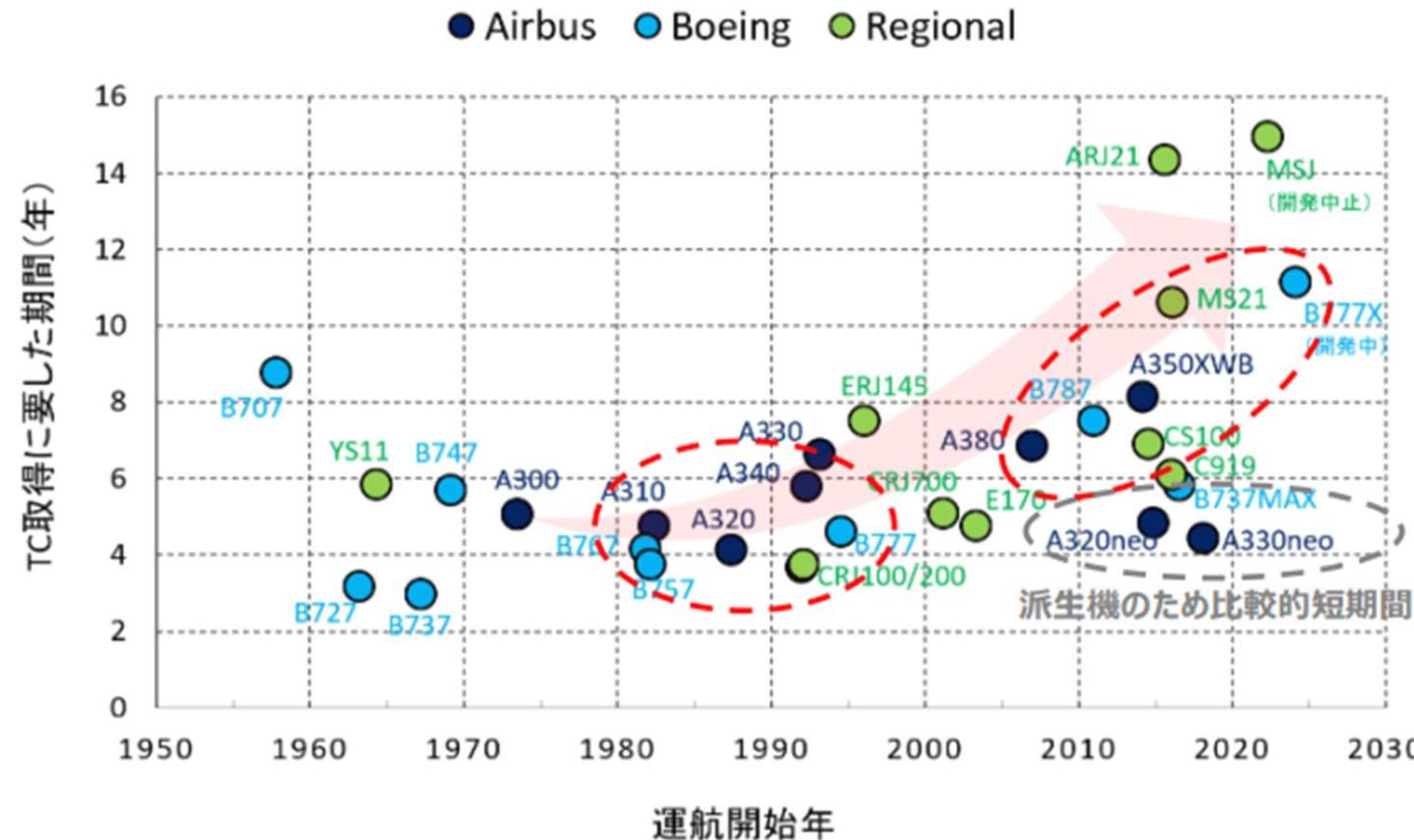
新たなプログラムへの参加にともなう資金負担は、サプライチェーン全般にわたる。
MROは収益源の一つとなっている。

製品のライフサイクルにわたる事業には、長期のリスクバッファーが求められる。

5. 民間航空機におけるリスク

出典：経済産業省 第1回航空機産業小委員会資料（2024年3月27日）
「我が国航空産業の今後の方向性について」

TC取得に要した期間(PJローンチ～EIS)

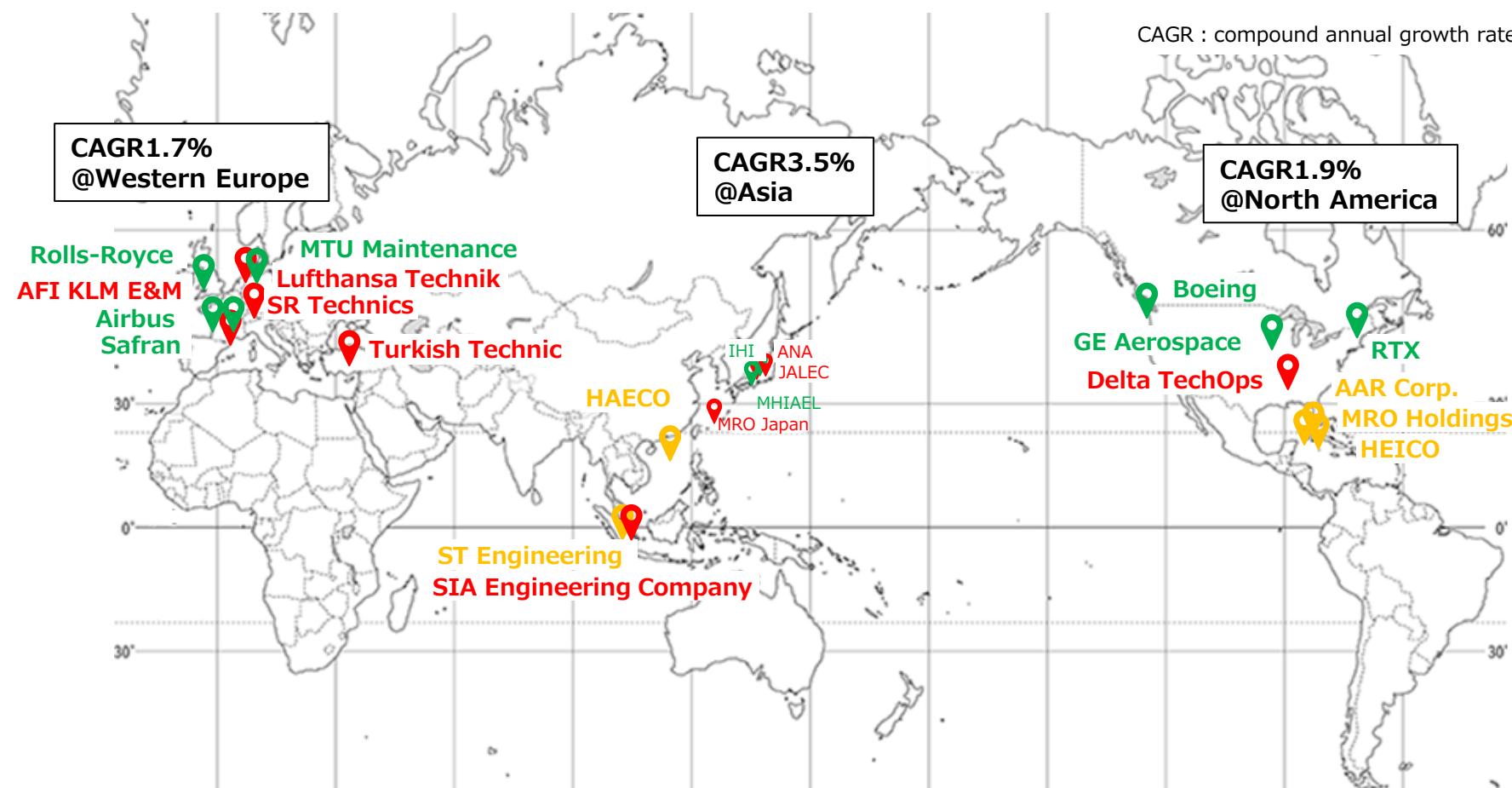


航空機開発の複雑化はTC（型式認証）取得期間の延長につながっている。
開発期間におけるキャッシュフローの負担も大きい。

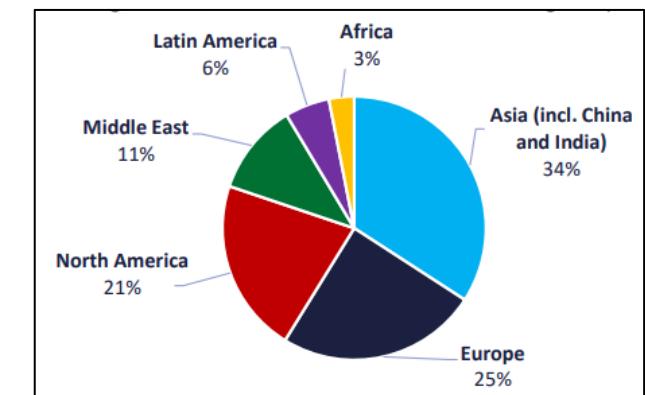
6. MRO分野の市場

📍 Airline系 🌿 OEM系 🌄 独立系

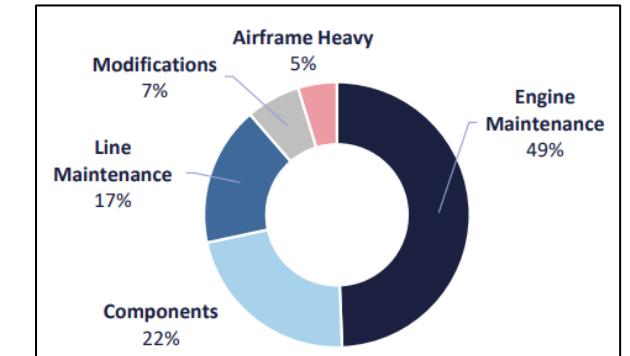
出典：2025 MARKET SUMMARY REPORT(Aviation Week Network)他よりSJAC作成



● 地域別需要の割合



● 整備対象別の割合



エアライン系（ルフトハンザなど）、OEM系（GEエアロスペースなど）が世界のプレイヤーである。
MROの世界市場は、多くの需要が今後も見込まれている。

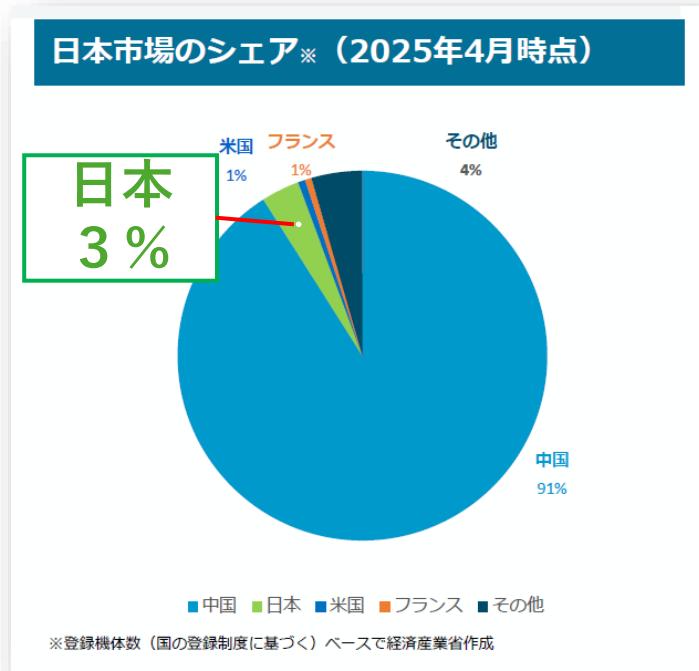
7. 無人航空機（ドローン）－新たなインフラの国産化

●無人航空機は我が国新たなインフラとの期待



出典：経済産業省ウェブサイト
(https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/drone_industry/20251224_report.html)

●国産の無人航空機は苦戦



出典：経済産業省ウェブサイト
(https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/drone_industry/20251224_report.html)
を加工して作成

国産機体の市場拡大に向け、需要の拡大と供給体制の強化。
→無人機産業基盤強化検討会の施策の確実な推進。

8. 空飛ぶクルマ – 早期の体制構築への期待

- 空飛ぶクルマは『次世代空航空機産業』との期待



出典：経済産業省ウェブサイト

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/images/airmobility/download_00.zip

- 国産を含め世界で機体の開発中



出典：経済産業省ウェブサイト

https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc_wg/r5/pdf/20231207_shiryou_s_4_1.pdf を加工して作成

空飛ぶクルマの機体市場の確立が重要。

⇒社会実装にむけ、運航管理システム等のインフラ整備。

⇒ビジネスモデルを見極め、実証やインフラ整備のため官民での投資。

9. まとめ

民間航空

国際共同開発する航空機のライフサイクルにわたる参加
→民間投資を後押しする国からの支援

無人機

サプライチェーン（供給体制）の強化
→需要創出によるビジネス環境の整備

空飛ぶクルマ

新たな産業クラスターの創出
→社会実装に向けた制度やインフラの整備

長期的な官民共同　スピード感を持って